

TBS

「TBSグループ VISION2030」の達成に向けた
コンテンツ拡張戦略「EDGE」の推進

TBSグループ VISION2030

IPを核として、コンテンツを軸に成長を目指す

EDGE コンテンツ価値の
最大化を目指す拡張戦略

EDGE=**E**xpand **D**igital **G**lobal **E**xperience

「デジタル分野」「海外市場」「エクスペリエンス(ライブ&ライフスタイルなど体験するリアル事業)」の3分野をコンテンツ拡張の最重点領域とする。

現在、公表している主な「EDGE」戦略 ～ 対Global (海外市場) ～

グローバル・プラットフォームとのビジネス展開

Netflix



日曜劇場『日本沈没 - 希望のひと -』

地上波 OA 同日の 24 時から世界配信 / 21 年 10 月～

『未来日記』

オリジナル恋愛リアリティ企画 / 全世界独占配信 / 21 年 12 月予定

『離婚しようよ』

オリジナルドラマ / 全世界独占配信 / 23 年予定



Disney+



日曜劇場『TOKYO MER ～走る緊急救命室～』

21 年 10 月より世界配信 (地上波 OA の 3 ヶ月後)



さらに他のグローバル・プラットフォームへの
オリジナル・コンテンツ供給も複数進行中

グローバル・パートナーとコンテンツ共同開発

CJ ENM / 韓国※1



戦略的パートナーシップ協定

- ・ドラマ、バラエティ、映画の共同開発・制作
- ・音楽、演劇等、ライブエンタメでの協業
- ・クリエイターの相互人材協力

※1 アカデミー賞 4 部門受賞「パラサイト 半地下の家族」の投資 / 配給社。グループ企業の「Studio Dragon」は「愛の不時着」「サイコ だけど大丈夫」等の OTT ドラマを企画 / 制作

Keshet International / イスラエル※2



日曜劇場『DCU』

共同開発・制作 / 22 年 1 月～



※2 世界的大ヒット作「ホームランド」で知られるイスラエルのテレビ局「Keshet 12」を傘下に持ち、ハリウッドでも活躍する、世界と太いパイプを持つ総合メディア企業

Zee Entertainment Enterprises / インド※3



戦略的パートナーシップ協定

- ・ドキュメンタリー、ドラマ、映画等の共同開発・制作

※3 インド No.1 のエンタメ放送事業社、国内で 47 チャンネル、海外で 36 の国際チャンネルを運営

TBSホールディングス

EDGE 戦略推進本部

デジタル&グローバル戦略推進室

デジタル分野や海外市場、特にグローバル・プラットフォームに向けたコンテンツの拡張戦略

⇒ 「海外戦略の新会社」を設立

エクスペリエンス戦略推進室

「赤坂エンタテインメント・シティ計画」をはじめ、ライブ&ライフスタイル、「体験する」事業の拡張戦略

⇒ 2022年夏、舞台『ハリー・ポッターと呪いの子』開幕を機に、赤坂の街をリブランディング

• 10月15日付で
「EDGE 戦略推進本部」
をTBSホールディングスに新設

• その下に
「デジタル&グローバル戦略推進室」
「エクスペリエンス戦略推進室」
を設置

「EDGE」戦略の推進を力強く
加速化させる



「海外戦略の新会社」を設立

01



02

世界標準に対応する「新スタジオ」を建設



「(株)マンガボックス」を連結子会社化

03

A group of diverse people, including men and women of various ethnicities, are shown in profile, smiling and engaged in conversation. The scene is dimly lit with a blue and red color palette, suggesting an evening social event. The text is overlaid on the center of the image.

「海外戦略の新会社」を設立

01

2022年3月にTBSホールディングス100%子会社として本格稼働の予定

「海外戦略の新会社」見据える相手は“世界”、見据える品質は“世界標準”

- ・ グローバル・プラットフォームの要求に応える、ドラマをはじめとしたハイスペックな「映像」コンテンツを企画開発/プロデュース
- ・ “制作実働部隊を持たない”コンテンツ・プロデューサー & IP 管理集団
- ・ さらに、グローバル・プラットフォームにとどまらず、映画、ライブエンタテインメント、ライセンス事業等、IPを核とするマルチユース展開へ

「総額300億円規模の制作費予算」を準備

- ・ 「TBSグループ中期経営計画2023」で掲げた1,000億円以上の成長投資の一環

⇒ 地上波の常識を超えたコンテンツを起点とする「IPポートフォリオ」への挑戦



世界標準に対応する「新スタジオ」を建設

02

緑山スタジオ・シティに「EDGE」戦略推進のための「新スタジオ」

- ・ 約300坪の広さ、コンテンツ・スタジオとしては日本最大級
- ・ 2023年3月の竣工予定

若手プロジェクトチームを編成し、“世界標準のスペック”を検討

- ・ 4K HDR等の高精細映像や5.1サラウンドサウンドに対応できるスタジオ機能を実現
- ・ SDGsへの取り組みとして、屋上に太陽光発電パネル設置

⇒「海外戦略の新会社」の本格稼働後は、さらなるスタジオ増設を計画

「(株)マンガボックス」を連結子会社化

03



2021年度第3四半期から連結子会社化

- ・ 好調な業績推移に加えて、「EDGE」戦略の推進の観点で、オリジナルIP創出企業としての重要性が向上

「IPポートフォリオ」の起点となる「コンテンツの種」を生み出す可能性

- ・ 2021年4月期金曜ドラマ『リコカツ』の OA とコミカライズの同時進行
- ・ 最大のヒット IP『にぶんのいち夫婦』を TBS スパークル制作で連続ドラマ化
(放送:テレビ東京 / 配信:Paravi)



※今期のTBSホールディングス連結業績へ与える影響は軽微です

TBS